

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2013年3月17日 第38期 No.12-441

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouthisyanokai.net/wp/>

## 会員継続のお願い

厳しい冬でしたが、一気に春がやって来ました。桜も早くも開花の発表がありました。お元気でしょうか。毎年のことながら、会員継続のお願いをする時期になりました。

東日本大地震の復興は2年を過ぎてても進んでいません。未曾有の大津波だった地域は、同じ土地に建物を建てられないのです。まして原発事故の地域は、家はあっても帰ることができません。200キロ離れた我孫子市でも、放射能は種々の難しい問題を残しています。

一方高齢社会への対策は待ったなしの状況です。私達はこれからも、安全・安心な社会を作るために、様々な問題に立ち向かって行かなければなりません。多くの方と力を合わせ、命を大切にする社会づくりに取り組みたいと思います。このような我孫子市消費者の会に、39期も会員でいてくださるよう、よろしくお願ひします。

会費納入書に年会費千円を添えて、ご近所の役員、運営委員に3月末までにお届けください。

期日までにお申し出が無い場合は、例年のように継続してくださるものと判断して、事務処理を進めます。また、新しいお友達を是非お誘いください。郵送会員の方は和田へお送りください。

## 4月定例会

4月1日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8階 調理室

## 総会は5月13日の予定

25年度の総会は5月13日(月) 13:30~  
我孫子北近隣センター(並木本館) ホール  
記念公開勉強会 講師 栗原洋子さん  
「認知症かな?その時どうする」

## 洗淨便座は電気製品です

洗淨便座は電気製品ですから、寿命があります。長期間使っていて、発火事件があったと、消費者庁から発表がありました。

機種はTOTO(株)TCF970とINAXブランドCW-531。お家で使っている便座の番号を一度ご確認ください。

消費者庁によると、24年4月から25年1月までに、91件の製品事故があったそうです。

先日、長崎のグループホームで、TDK(株)の加湿器からの発火で火災になりました。この製品は、会社からリコール情報が出ていましたが、それを知らないで使っていたのかも知れません。

新聞の社会面の下のほうに、時々回収情報が出ています。これらの情報を良く見たほうが良いと思います。裏面に関連記事を転載します。

## 宅配便を装った悪質商法

「宅配便の者ですが」という電話がKさんのところへ。「ご注文の品を午後お届けしますが、ご在宅でしょうか?代金引換になっていますので」と。まもなく通販で買ったものが届く頃だと思ったが、何か変???「中身は何ですか」と聞くとヒアルロンサンで、2万円以上。Kさんは怪しいと気づいて「ヒアルロンサンは頼んでいませんから」と断りました。

情報提供のつもりで、我孫子の消費生活センターに電話すると、センター相談員が「今一番流行ってます。気をつけてください」と。

Kさん曰く「家族と同居していたら、自分は頼んでいなくても、家族が頼んだかも知れないと、お金を払うかも知れないし、特に認知症気味だったら・・・と、新手の悪質商法に注意して欲しい」と。お気をつけてください。

## 食品ロスを出さないために

日本では、年間約1,788万トンの食品廃棄物が出されています。このうち、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は約500～800万トンと試算され、米の年間収穫量約813万トンにほぼ匹敵します(21年度)。

食品ロスの約半分は一般家庭からのもの。家庭での一人当たりの量を試算すれば、一年間で約15キログラムに及び、60回の食事分に相当します。

- 1 過剰除去(22.7g 55%)  
皮の厚剥き等
- 2 食べ残し(11.1g 27%)
- 3 直接廃棄(7.3g 18%)  
期限切れでそのまま廃棄

- ・賞味期限はおいしく食べることでできる期限。期限を過ぎて、におい等の五感を使って食べられるかどうかを判断することも必要。
- ・買い物に行く前には、冷蔵庫の中をチェック。
- ・作りすぎない。余ったら作りかえる工夫をしましょう。(以上消費者庁の資料から)
- \*我孫子でも、食品ロスを出さないよう呼びかけています。台所ゴミは、水をよく切って出しましょう。できるだけ自家内処理を。
- \*廃棄物を減らすために、徹底した分別に協力を。それは税金を大切に使うことです。

## 今年も緑のカーテンを作しましょう

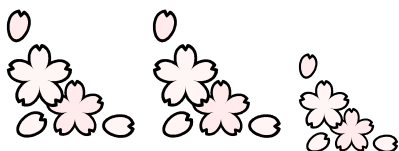
手賀沼流域フォーラムの我孫子地区企画の一つとして、緑のカーテンの講習会を予定しています。一人2本の苗が無料で配られます。

5月18日(土)の予定。詳細は後日。

## 放射性セシウム

手賀沼の西側の汚泥で、最高15300Bq/kgが検出されています。(基準値8000Bq/kg)モツゴやフナも出荷禁止が続いています。

南房総の夏みかんからも微量ながらセシウムが。空間線量は少なくなってきたと報道されますが、起きてしまった原発事故の影響は今後も続きます。



## 「冬水田んぼ」に取り組む農家

「冬水田んぼ(冬季湛水)」は、冬の期間はもちろんのこと、稲の収穫前まで湛水状態を続ける水管理方式の稲の育て方です。

トキ放鳥の佐渡市、コウノトリの豊岡市、マガンの越冬地の宮城県大崎市、カモの越冬地の石川県加賀市などが有名です。我孫子では、手賀沼トラストがすでに10年間行い、その成果が報告されています。

今回、農家の方が行っていると聞き、佐倉市の和田未来農業研究会を訪問しました。始めてからまだ2年しかたっていないのですが、農薬も化学肥料も検出されなかったので手ごたえを感じているようでした。普及会から認証されるには、3年間を経なければいけないのだそうです。メンバーは8名。不耕起栽培は6名。栽培面積は、昨年1町歩(3,000坪)、今年は4町歩でできるようになったそうです。

田んぼに行ってみると、ポンプでくみ上げた水が谷津田を順々に降りてきて、潤いのある風景を創り出していました。

印旛沼の上流にあたる和田地区がこの農法を行えば沼の水質浄化に繋がります。また、高齢化率30%のこの地区にとって、省力化の農法は魅力的です。周囲には、たくさんの生き物が戻ってきて生態系が復活しています。

周囲の農家は、収穫された米に付加価値が付くかじっと様子を見ているそうです。今、まさに実験中。良い結果が出れば、追随する農家が増えることでしょう。環境に優しく安全なお米なら、買い求める消費者は少なくないと思いますし、買い支えるべきと思いました。

「冬の農閑期にミネラル分や糠などを蒔くのですが、肥料をやるものではありません。ミミズに餌を与えているのです。稲の肥料はミミズの糞です」と話されました。奥深い理念をもった活動でした。広がることを期待!(加藤)

..... キリトリ .....

### 会費納入書

我孫子市消費者の会第39期年会費1,000円を納入します。

氏名

住所

電話

(住所、電話の変更の方は赤字で)